

M・C・S（メディカル・キャンプ・セミナー）講師体験記

北海道札幌西高等学校

福 島 洋 一

資料として残ってしまうと支障があるような気がする（恥ずかしい面もあり）、細かい部分は当日提示のみということで、簡易版の資料でお許しください。

○メディカル・キャンプ・セミナーとは

北海道教育委員会が主催し、夏休み中に開催している、医学部へ進学を希望する高校2年生を対象とした合宿。内容は医師の仕事や医療にかかわる内容の講義、テーマに基づいたグループ競技、数学・英語の講義（ここの数学を今年度私が担当）。令和元年まではひとつの会場（多分ネイパル深川）で合宿形式。令和2年度は会場分散でオンラインとのハイブリッド開催、令和3年度からはオンラインで開催。

○合宿形式とオンラインの違い

私は平成29年から令和元年までの3年間、合宿形式のときに講師をやらせていただいたことがあった。当時は事前に問題を配布して予習を求め、当日会場で講義を行うスタイルだった（たしか90分くらい）。オンラインになって初めて担当した今年は、学習計画の立て方や学習方法についての講義を60分で行ってほしいと依頼された。

○何すればいいかわからない

ありがたく引き受けたまでは良かったのだが、学習方法と言っても、何を話せばよいか分からない。Zoomで講義するのも初めてだし、そもそも医学部に入るための数学の勉強って何？

○迷走の末たどり着いたところ

医師をしている友達と医学部に進んだ卒業生へのインタビューから、高校数学と医師、医学部との関わりを聞き、参加者にお話した。あとは一般的な数学の学習の留意点の私見をお話した。以上のネタで60分話し続けるスキルがなかったため数学の問題も提示して考えてもらった。

○何とか終わったが…

私見を語ったうえで、「基本的には現在担当してもらっている先生を頼りにしてほしいと」、半ば無責任な（ある意味誠実な？）内容で終わってしまった。やや罪悪感アリな時間になってしまった。Zoomは難しい。

※参加者に事前に配布した課題を期間限定で公開します

https://drive.google.com/drive/folders/1XTj42ZIXcfc9qf8bTQJ1XV_7Ce0v404-?usp=sharing